

落札者決定基準

工 事 名：奈良県立医科大学新キャンパス新築工事（建築工事）  
工事番号：第04－4号  
工事場所：橿原市四条町 地内

■落札者決定基準【標準型①（WTO）（建築）】

分類		評価（審査）項目	評価（審査）内容	評価（審査）基準		配 点	
技 術 提 案 書  (注5)	技 術 提 案 に 係 る 項 目	工事目的物の性能・機能の向上に関する項目①(注1)	講堂図書棟、講義棟、実習研究棟、体育施設棟で施工する杭の建込み位置の精度を確保するために各棟共通して実施する具体的な工夫を提案・実施する。ただし、工法変更に関する提案を除く。	a. 品質の確認方法、管理方法が適切であり、特に優れた工夫かつ具体的な根拠及び効果が見られる	6	小計 54点 満点	
				b. 品質の確認方法、管理方法が適切であり、優れた工夫かつその具体的な根拠及び効果が見られる	4		
				c. 品質の確認方法、管理方法が適切であり、工夫かつその具体的な根拠及び効果が見られる	2		
				d. 品質の確認方法、管理方法が適切であるが、上記a、b、cに該当しない	0		
		工事目的物の性能・機能の向上に関する項目②(注1)	本工事で施工する建築物の基礎コンクリートのひび割れを防止するため、コンクリート打設完了後に各棟共通して実施する対策について具体的な工夫を提案・実施する。ただし、コンクリートの配合及び施工時期に関する提案を除く。	a. 品質の確認方法、管理方法が適切であり、特に優れた工夫かつ具体的な根拠及び効果が見られる	6		
				b. 品質の確認方法、管理方法が適切であり、優れた工夫かつその具体的な根拠及び効果が見られる	4		
				c. 品質の確認方法、管理方法が適切であり、工夫かつその具体的な根拠及び効果が見られる	2		
				d. 品質の確認方法、管理方法が適切であるが、上記a、b、cに該当しない	0		
		工事目的物の性能・機能の向上に関する項目③(注1)	講堂図書棟、講義棟、実習研究棟、体育施設棟で施工する勾配屋根は片持ち梁の鉄骨構造物であり、その他回廊、渡り廊下の屋根を含め、屋根勾配は景観上非常に重要なものであることから、各棟共通して実施する鉄骨建方の精度を確保するための具体的な工夫を提案・実施する。	a. 品質の確認方法、管理方法が適切であり、特に優れた工夫かつ具体的な根拠及び効果が見られる	6		
				b. 品質の確認方法、管理方法が適切であり、優れた工夫かつその具体的な根拠及び効果が見られる	4		
				c. 品質の確認方法、管理方法が適切であり、工夫かつその具体的な根拠及び効果が見られる	2		
				d. 品質の確認方法、管理方法が適切であるが、上記a、b、cに該当しない	0		
		工事目的物の性能・機能の向上に関する項目④(注1)	講堂図書棟のエントランスホールは新キャンパスにおいて中心となる重要な空間であり、美観を重視しているため、エントランスホール壁のコンクリート打ち放し（本実仕様）仕上げの美観を向上させるための具体的な工夫を提案・実施する。ただし、コンクリートの配合、施工時期に関する提案及び仕上げ（仕様、色味等）に係る提案を除く。	a. 品質の確認方法、管理方法が適切であり、特に優れた工夫かつ具体的な根拠及び効果が見られる	6		
				b. 品質の確認方法、管理方法が適切であり、優れた工夫かつその具体的な根拠及び効果が見られる	4		
				c. 品質の確認方法、管理方法が適切であり、工夫かつその具体的な根拠及び効果が見られる	2		
				d. 品質の確認方法、管理方法が適切であるが、上記a、b、cに該当しない	0		
		工事目的物の性能・機能の向上に関する項目⑤(注1)	講堂図書棟の講堂内部床仕上げはコンクリート+モルタル金鏝の上、フローリング直貼りであり、床のレベルは可動席の動作に影響を及ぼすことから、平坦さを確保することが重要となってくるため、平坦さを確保するための具体的な工夫を提案・実施する。	a. 品質の確認方法、管理方法が適切であり、特に優れた工夫かつ具体的な根拠及び効果が見られる	6		
				b. 品質の確認方法、管理方法が適切であり、優れた工夫かつその具体的な根拠及び効果が見られる	4		
				c. 品質の確認方法、管理方法が適切であり、工夫かつその具体的な根拠及び効果が見られる	2		
				d. 品質の確認方法、管理方法が適切であるが、上記a、b、cに該当しない	0		
		社会的要請の対応に関する項目①(注1)	本工事の北東はまとまった住宅地が形成されており、地盤の掘削及び搬出の作業による施工時の粉塵が周辺に及ぼす影響が大きいことから、施工時の周辺環境への負荷（粉塵）を軽減するための具体的な工夫を提案・実施する。	a. 施工管理方法が適切であり、特に優れた工夫かつ具体的な根拠及び効果が見られる	6		
				b. 施工管理方法が適切であり、優れた工夫かつその具体的な根拠及び効果が見られる	4		
				c. 施工管理方法が適切であり、工夫かつその具体的な根拠及び効果が見られる	2		
				d. 施工管理方法が適切であるが、上記a、b、cに該当しない	0		
		社会的要請の対応に関する項目②(注1)	本工事は造成工事及び分離発注工事が、同敷地内で並行して作業を行うことから、本工事及び各種工事を効率よく円滑に進めていくための工程管理の手法について具体的な工夫を提案・実施する。	a. 施工管理方法が適切であり、特に優れた工夫かつ具体的な根拠及び効果が見られる	6		
				b. 施工管理方法が適切であり、優れた工夫かつその具体的な根拠及び効果が見られる	4		
				c. 施工管理方法が適切であり、工夫かつその具体的な根拠及び効果が見られる	2		
				d. 施工管理方法が適切であるが、上記a、b、cに該当しない	0		
		社会的要請の対応に関する項目③(注1)	本工事は造成工事及び分離発注工事が同敷地内で頻繁に交錯し、各所工事において、高所作業となるものが多いことから、工事現場内における効果的な転落事故防止対策（安全対策）について、具体的な工夫を提案・実施する。ただし、他工事で設置する足場や仮設物に関する提案を除く。	a. 施工管理方法が適切であり、特に優れた工夫かつ具体的な根拠及び効果が見られる	6		
				b. 施工管理方法が適切であり、優れた工夫かつその具体的な根拠及び効果が見られる	4		
				c. 施工管理方法が適切であり、工夫かつその具体的な根拠及び効果が見られる	2		
				d. 施工管理方法が適切であるが、上記a、b、cに該当しない	0		
		社会的要請の対応に関する項目④(注1)	環境負荷低減の観点から建設副産物の発生を抑制する手段として、具体的な工夫を提案・実施する。	a. 施工管理方法が適切であり、特に優れた工夫かつ具体的な根拠及び効果が見られる	6		
				b. 施工管理方法が適切であり、優れた工夫かつその具体的な根拠及び効果が見られる	4		
				c. 施工管理方法が適切であり、工夫かつその具体的な根拠及び効果が見られる	2		
				d. 施工管理方法が適切であるが、上記a、b、cに該当しない	0		
		配置予定技術者の技術提案に対する理解度	主任技術者・監理技術者（JVの場合は構成員全員）の技術提案の記載内容に対する理解度（ヒアリングで聞き取り）（注6）	a. 内容を理解している	0	小計 0点 満点	
				b. 一部でも理解していない技術者がいる（注2）	Max -10		
				c. 全く理解していない技術者がいる（注3）	欠格		
加 算 点 合 計（注4）						54点満点	

- （注1）技術提案に係る項目の記載内容が適正でない（未記載を含む）場合、提案を求めている事項が1つでも欠落している場合、本工事の施工条件（工種、工法、地形、地名 等）に合致していない内容が含まれている場合は欠格とし、入札参加を認めないものとする。
- （注2）減点の基準として、出席した配置予定技術者を指名し回答できない場合、その都度その者が主たる配置予定技術者の場合は－3点、従になる配置予定技術者の場合は－1点とし、その場で委員長に確認を行い配置予定技術者に伝える。
- （注3）「全く理解していない技術者がいる」とは、1回も回答できない配置予定技術者が1人でもいる場合とする。
- （注4）加算点の合計が減点により0点を下回る場合は欠格とし、入札参加は認めないものとする。
- （注5）技術提案書の提出書類について、工事名・工事番号が適正でない場合、会社名（共同企業体の場合、共同企業体名及び代表者名）が記載されていない場合、押印がない場合、提出期限までに提出されない場合、提出を求める様式について一部でも漏れ落ちがある場合は欠格とし、入札参加は認めないものとする。
- （注6）ヒアリングに出席していない配置予定技術者は、原則として、配置技術者にならない。  
但し、入札参加要件を満足する配置予定技術者がヒアリングに出席できない場合において、やむを得ない理由による欠席で、ヒアリングの前日（土・日・祝日を含まない）の正午までに理由書の提出がある場合はこの限りではない。  
なお、この場合において、主たる配置予定技術者が欠席した場合は－3点、従になる配置予定技術者が欠席した場合は1社あたり－1点とし、減点する。